

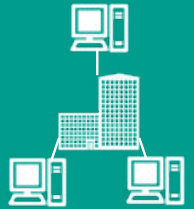
新しい職場のカタチ

サテライトオフィス

satellite office

サテライトオフィスとは・・・

情報通信技術を活用し、本社から離れた場所で、本社と同等の業務が実施できるオフィスのこと。



鹿屋にもサテライトオフィスが誕生

新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークなどの「新しい働き方」が定着しつつあります。このような流れを捉え、市では都市部にある企業のサテライトオフィスの誘致に取り組んでいます。

■ 市産業振興課
Tel 0994-31-1180

サテライトオフィスの開設を支援します

市内に事業所を有しない鹿児島県外の事業者が、市内にサテライトオフィスを設置する場合に支援します。

サテライトオフィスの開設や運営に係る費用に対して最大400万円、新たな市民の雇用に対して最大100万円を補助します。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



鹿屋市のサテライトオフィス第1号 ライブストック・アグリテクノ株式会社鹿児島オフィス

埼玉県に本社を置き、畜産分野のソフトウェア開発を行う会社。業界初の子牛の体調管理システム「アットモーメント」を開発し、全国の農家へ導入を進める。

ライブストック・アグリテクノ株式会社

小迫 賢太郎 さん (右)
吉本 幸佑 さん (左)



不便なことはなく 生活もしやすい環境

事業拡大に向けた製品の改良・改善や収集したデータのモニタリングを行う拠点として鹿児島オフィスを開設しました。鹿屋市を選んだ理由は畜産が盛んな地域だったことと、サテライトオフィスへの助成制度があったからです。

鹿児島オフィスの業務は牛に取り付けるタグ等の在庫管理、企画や採用といった総務部門の業務のほか、タグの取り付けとその後のアフターフォローも行っています。鹿屋でのデータ管理は佐賀県や大分県など九州管内の畜産農家等が対象です。現在、本社とのやり取りはテレビ会議やメールで行っています。昔ほ



どは全員が同じ場所にいる必要もなくなりました。

サテライトオフィスは、Uターンを考えている人にとっても良いことです。地方出身者で東京や大阪などの都市圏で働く人が親の介護等の問題に直面したとき、地元で同じ業務を行うことができる環境があれば、Uターンを行う人も増加するのではないのでしょうか。

鹿屋は生活しやすいところだと思っています。鹿児島市や空港、宮崎方面に向かう場合も、フェリーや高速道路が整備されており、交通の便も悪くないと感じています。

現在、鹿児島オフィスで勤務する社員は2人ですが、10人ほどまで増やしたいと考えています。大隅、鹿屋の方と一緒に働けたらいいですね。

